

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2019.3 March vol.46-2

二月定例議会一般質問概要

人に寄り添う取り組み

子どもオンブズ制度の導入を

2月12日から3月1日まで定例議会が開かれ、知事提案、平成31年度一般会計予算や30年度補正予算などの予算案、法律改正に伴う手数料改定条例案など76件はすべて可決し、2件の特別委員長報告も採択しました。また、今期で退任される溝口知事に対して、議員提出による「感謝決議」を行い、大屋議長から感謝状が手渡されました。

今回は人を育てること、人を支えることに取り組む施策の充実を求めて、今期、取り上げてきた課題について質問しました。私の一般質問は、次の通りです。

子どもの権利擁護の取り組み

放課後や休日に障がい児を預かる「放課後デイサービス」の事業所内で利用者の女兒が施設の職員から虐待を受けていたとして、運営会社の社長と指導員が逮捕される事件がありました。



子どもオンブズパーソン制度の導入を求めるが、考えを聞く。健康福祉部長 国では、平成29(2017)年に新たな社会的養育ビジョンが示され、県では社会的養護体制推進計画の見直し作業を進めている。再来年度から10年間を計画期間とした島根県社会的養育推進計画を来年度中に策定する予定。計画の議論の中で、子どもオンブズ制度について、項目として取り上げ皆さんに議論をしていただく考えである。

幼児教育センターの充実へ

今年度4月に幼児教育センターが設置され、幼稚園教諭、保育士などの資質や保育所・幼稚園の教育力の向上に向けた県による支援の取り組みが始まりましたが、さらなる取り組みが必要と見られます。

♥認可外保育施設について、幼児教育センターの対応はどうなっているのか。

健康福祉部長 認可施設と同様、認可外保育施設も訪問を始め、集合研修（裏面へつづく）



県民主体の政治に

島根県知事選挙予定候補者の丸山たつやさんは「若さと行動力で、新しい島根の創生」を掲げ出馬を表明されました。私が所属する県議会の会派、民主県民クラブでもいち早く支持を決定し、応援しています。

丸山さんは、元総務省職員で2013年から3年間、島根県に出向し、政策企画局長などを務められ、委員会等で私もいろいろと意見交換させていただきました。人の意見にも熱心に耳を傾け誠実に対応され、政策作りにも努められた人柄を活かした県政運営が期待されます。

の開催や相談対応など、各種支

援の対象としている。認可外保

育施設に対し、幼児教育の無償

化について説明会を開催する

予定で、その際にセンターの活

用について周知する。引き続き

センターの活動を通じ、各施設

における教育、保育の質の確

保、向上が図られるよう努め

る。

生活困窮世帯の

子どもへの学習支援

生活困窮世帯の子どもを支援

する予算を確保し、必要な人員

確保と体制づくりにつながる仕

組みが必要だが、いかがお考え

か。

健康福祉部長 生活困窮世帯

の子どもの支援には、学校や学

習支援の場で発するサインに

気づき、いち早く生活困窮者支

援の窓口である自立相談支援

機関につながる仕組みづくり

が重要。県では、自立相談支援

機関の職員に対する研修を毎

年行っている。こうした人材育

成を継続しながら、より効果的

な支援につながるよう努めて

いく。

総務委員会で質疑

一般質問で取り上げなかった課題議論

今議会の総務委員会で、いく

つかの点について質問、要望し

ました。

再生可能エネルギーの

利活用推進を

昨年度の決算審査でも、市町

村と協力して再生可能エネル

ギーの利活用を広めてほしい

と要望しましたが、新年度の地

域振興部所管予算では、今年度

当初予算より少なくなってい

ます。再度、利活用に積極的に

取り組むよう要望しました。

答弁では、他の部局において

も再生エネルギー利活用の予

算が組まれており、それらを合

わせる今年度並みであると

いうことでしたが、積極的な取

り組みを求めます。

元号と西暦の併用を

5月に予定される元号改正

によって、今後、三つの元号が

いろいろな場面で出てくるこ

とも考えられ、西暦との併用を

進められたいと要望しました。



法務専門官の採用を

松江市では弁護士資格を持つ

専門の職員を採用しており、県

も採用について考えるべきでは

ないかと指摘しました。児童相

談所への弁護士配置が求められ

ていますし、そのほかにも県民

と接する中で法律に触れること

も多く、弁護士活躍が期待さ

れます。

また、特殊詐欺への対応強化、

信号機の設置・更新予算の確保

についても要望しました。

一人ひとりの意見を尊重する社会に

雲南市周辺に住む女性たちと懇談

2月6日、雲南市及び近郊

在住の女性を中心とした皆さ

んでつくる団体「あげそげ！

はっけんぐみ」が開いた座談会

に参加しました。「議員つてど

んなことしているの」という疑

問から、議員に直接聞いてみよ

うということが開かれ、3人の

雲南市議会議員の皆さんと県

議会議員の私の4人が参加し

ました。

議員のなり手不足について、

参加者から「北欧などでは夜に

議会を開く取り組みによって

他の仕事を持ちながら議員活

動している」などが紹介されま

した。私たち議員の側からは、

兼職で議員ができることは良

意見が出ました。

お茶を飲みながらざっくば

らんに意見交換の場を作って

いる「あげそげ！はっけんぐ

み」の活動に、私も含め議員の

皆さんも、有意義な取り組みと

称賛していました。いろいろな

世代の人たちが、みんな意見

を出し合う場をつくってけれ

ば、より政治への関心も高ま

り、議員の出やすい環境がつく

られていくでしょう。